


1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	西八代都市川三郷町上野	地区名	川浦沢 (カワウラサワ)	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
①課題・背景 渓床勾配1/3.5の急峻な土石流危険渓流である。流域面積は0.05km ² を呈し、流域内には崩壊による不安定土砂が河床に厚く堆積し、渓岸浸食も見られる。このため砂防施設を早急に整備し、下流域の安全を確保するものである。保全対象は、人家88戸のほか県道、町道、川浦集会所 (避難所) 等の公共施設も存在し、土石流が発生すると甚大な災害を引き起こすことが予測されるため、土石流を抑止する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。				妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>																																									
②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 12% < 70%未満※ ・重要公共施設の有無 有 (県道、避難所) (保全対象=人家88戸、県道 290m、避難所 (川浦集会所)) ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 ○被災時の被害波及の防止 (保全対象に避難所 (川浦集会所) を有する)				②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>																																									
(2) 整備内容 ①整備内容 砂防堰堤 1基 H=6.5m L=37.0m ②着手年度 令和5年度 ③完成見込年度 令和13年度 ④総事業費 約400百万円 (国費200百万円(5/10)県費200百万円(5/10))				③経済妥当性 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>400 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R12</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>322 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">4,871 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>322 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">1,268 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">510 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">545 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td colspan="2">2,548 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">15.1</td> </tr> </table> ※その他は、応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている				総事業費	400 百万円	工期	R4~R12	基準年	R3	経済効率性	費用	322 百万円	便益	4,871 百万円		建設費	322 百万円	一般資産被害抑止	1,268 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	510 百万円			百万円	公共土木施設等被害	545 百万円			百万円	その他※	2,548 百万円		B/C			15.1		
総事業費	400 百万円	工期	R4~R12	基準年	R3																																								
経済効率性	費用	322 百万円	便益	4,871 百万円																																									
	建設費	322 百万円	一般資産被害抑止	1,268 百万円																																									
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	510 百万円																																									
		百万円	公共土木施設等被害	545 百万円																																									
		百万円	その他※	2,548 百万円																																									
B/C			15.1																																										
⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和5年度 詳細設計・用地測量 20 百万円 令和6年度 用地取得・立木補償 20 百万円 令和7年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和8年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和9年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和10年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和11年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和12年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和13年度 砂防堰堤工事 60 百万円				④事業実施・規模の妥当性 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>																																									
⑥既整備内容・期間・事業費 既設治山堰堤 3基				⑤整備手法の有効性 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>																																									
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				⑥環境負荷等への配慮 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>																																									
				⑦事業計画の熟度 地元の要望に基づいている <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>																																									
				総合評価																																									
				[貢献度ランク : a]																																									
				(4) 事業位置図等 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">位置図</div>  </div>																																									

2. 添付資料シート

